



八戸市立市民病院

決して後悔させない
充実した
産婦人科後期研修の案内

当院産婦人科の特徴1

- 豊富な症例: 年間手術件数約500例、分娩550例
悪性新生物手術90例、内視鏡手術150例
周産期手術150例、その他良性疾患110例
- 仕事の後の楽しいひととき
八戸の美味しい海の幸、青森の美味しい山の幸
を思う存分味わえます

当院産婦人科の特徴2

- 研修期間中にかなりの執刀経験が可能
- 最低でも年に1度は学会発表+学会参加
- 年に1報は論文作成(きちんと指導します)
- 動物を使った内視鏡手術のトレーニング参加
- やる気のある人間はどんどん先へ
- 文武両道
希望者は野球、アイスホッケー、バレー部入部
- 充電の為の充実した夏期休暇、冬期休暇

当院産婦人科医の平日の1日

- 7:30 病棟、周産期センター点滴確保
- 8:00 症例検討(術前カンファレンス等)
- 8:30 外来診療開始
- 9:00 病棟、周産期センター回診・処置
手術(月、火、水、金)
- 17:00 病棟夕回診、翌日の診療計画等
周産期センター胎児超音波
- 19:30 街でリフレッシュ・栄養補給
各種クラブ活動

手術執刀の流れ(目標)

- 後期研修1-2年目 (1人年間50-100例目標)
 - 産科手術
 - 一般的な良性疾患の開腹手術
 - 一般的な内視鏡下手術
- 後期研修3-4年目 (+1人年間10-20例目標)
 - 難易度の高い良性疾患の開腹手術
 - 難易度の高い内視鏡下手術
 - 腔式手術
- 後期研修5年目 (++1人年間5-10例目標)
 - 悪性新生物の開腹手術

研修終了迄に達成する内容

- 当該スタッフとの良好なコミュニケーション
- 診断から治療までの計画立案
- 一般外来診療
- 適切な分娩介助
- 緊急手術の判断
- 良性疾患・産科手術の下級研修医への指導
- 日当直(他科への適切な頼診依頼等)
- 学会発表、論文作成の基本

研修期間に受験可能な資格

- 日本産科婦人科学会認定医
- 日本臨床細胞学会細胞診指導医
- 日本婦人科内視鏡学会技術認定医
- 検診マンモグラフィー読影認定医
- その他

ただし、学会に入会する必要があります

研修終了後の選択肢

- 臨床専門医として当院産婦人科に勤務
(産婦人科認定医取得可能)
- 地域医療専門医として開業
- 医学博士取得目的に大学院へ
(弘前大学、東北大学等受験可能)